


【現場除雪事例：H13 北海道 19】

除雪工夫分類	B1:除雪範囲の限定 / D2:路面・法面への配慮 / A2:気象情報確認・活用 / C1:作業員の安全
工事種別	河川工事
工事名称	石狩川改修工事の内 忠和築堤外工事
施工場所	北海道旭川市神居町忠和
工期	平成 13 年 6 月 12 日～平成 14 年 1 月 8 日
使用機材 / 機械	雪ハネ、スコップ / バックホウ 0.7m <sup>3</sup> 級、ブルドーザー 3 t 級
現場除雪の工夫・留意点等	<p>作業開始前にブルドーザ、バックホウにより当日作業予定箇所を除雪、作業通路を確保する。施工箇所をいためない様にバックホウ、人力により降雪する。日々の気象情報を常に把握し、適切な機械、人員配置をする。バックホウについては、施工箇所をいためないため、法面用バケットを装着した。作業員に自発光式トウチョッキを着用させ、オペの視認性向上をはかった。これについては、吹雪、夕暮に効果があり、接触事故防止に役立った。人と機械の混在作業時は、互いに位置を確認し、重機の死角、及び作業範囲にむやみに立入らない様周知徹底させた。</p>
	
<p>バックホウ、人力による施工箇所の除雪</p>	

【現場除雪事例：H13 青森県 20】

除雪工夫分類	C1:作業員の安全 / B2:現場機材の活用
工事種別	河川工事
工事名称	起海維第7780号 甲海岸維持工事
施工場所	青森県下北郡風間浦村大字下風呂地内
工期	平成13年12月11日～平成14年3月20日
使用機材 / 機械	バックホウSK200、プラウトラック12t級
現場除雪の工夫・留意点等	<p>通行する道幅が狭いため、幅広く除雪すると車両が路外へ転落する恐れがあるため、路幅以上の除雪をしないようにしました。積雪のある日は、除雪機械が国道及び町村道の除雪を優先するため、現場で作業開始の時刻に間に合わないので、現場で使用しているバックホウで行います。</p>
	


【現場除雪事例：H13 北海道 83】

除雪工夫分類	C1:作業員の安全
工事種別	河川工事
工事名称	石狩川改修工事の内 篠津川河道掘削工事
施工場所	北海道江別市八幡
工期	平成 13 年 12 月 8 日～平成 14 年 3 月 6 日
使用機材 / 機械	D-60 プルドーザー (15t 級) 、 D-30 プルドーザー (4t 級) 、 タイヤショベル(1.0m <sup>3</sup> 級)
現場除雪の工夫・留意点等	当現場での工事用道路として築堤上を走行する際、天端幅のみの除雪で両脇に雪を残すと、風雪が強い地域の為、数時間で工事用道路が吹溜の為、車両の走行に支障をきたすので、両脇の雪を天端高と同じに平坦に除雪しました。



2 列での築堤上除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 120】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / C1:作業員の安全
工事種別	河川工事
工事名称	鶴川改修工事の内 有明3号樋門呑口改良外工事
施工場所	北海道鶴川町、穂別町
工期	平成13年12月19日～平成14年3月18日
使用機材 / 機械	除雪スコップ、スコップ / バックホウ 0.8m <sup>3</sup> 級、バックホウ 0.5m <sup>3</sup> 級、ブルドーザー 8t 級、ブルドーザー 15t 級
現場除雪の工夫・留意点等	<p>毎日仕事が終わる前に作業を止め、天端などは平らに仕上げ、しっかり締固めをして機械で除雪しやすい様にしておく。法面もかならず仕上げて締固めをして人間も機械も、作業しやすい様にしておく。その際法面にはシートなどを掛けておく。機械は主にバックホウとブルドーザを使用する。基本的にはブルドーザを使用し、ブルドーザが作業出来ない箇所は人力とバックホウを使い、雪はバックホウで型を整え崩れない様にしっかり固めておく除雪には作業指示者を指名し、作業機械との間隔等に注意して作業する</p>
	
<p>人力による除雪</p>	

【現場除雪事例：H14 青森県 2】

除雪工夫分類	C1:作業員の安全
工事種別	河川工事
工事名称	起河維第 7730 号 老部川河川維持工事
施工場所	青森県下北郡東通村
工期	平成 14 年 12 月 11 日～平成 15 年 3 月 25 日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.8m <sup>3</sup>
現場除雪の工夫・留意点等	除雪後、融雪剤をまき、スリップしないよう注意している。

